

# 2年生、模擬市長選挙と模擬議会をパワーアップ 地域活性化策、堂々提案



探究通信  
第15号  
R7.2.7  
2学年まとめ号

今年度の模擬前橋市長選挙は今までとは異なる様々な「チャレンジ」を行ったことで、高校生模擬議会のレベルアップにも成功した。



9月には各クラスそれぞれに視点が割り振られた。「医療・健康」、「地域経済」、「教育・福祉」、「ICT・デジタル」、「環境・建設水道」、「農政・産業経済」からのアプローチで前橋市を活性化する案を考え出した。10月3日(木)には前橋市議会議員の方々にご協力いただき、各クラスにてレクチャーをしていただくと同時に生徒たちと一緒にマニフェスト

作りに協力していただいた。今年度は視点到合わせて、大学生を配属した。保健師や教員を目指す学生、応用化学や情報学、地域政策や発展途上国での経済支援を専門に学ぶ学生に協力依頼した。全員が本校をR2年度に卒業した県内大学(群馬大、前橋工科大、高崎経済大、県立女子大、前橋国際大、群馬医療福祉大)に通う学生であり、後輩たちとの活動を快く引き受けて

くれた。



11月21日(木)には、「本物」の市長である小川あきら市長に来校していただいた。生徒たちの演説練習を見ていただき、改善ポイントを教えてくださいました。生徒たちは選挙当日に



生徒は市長や教育長はじめ各部署局長らの前で堂々と考えを語った

向け、例年通り、選挙公報やポスター、発表演用スライド、候補者PR動画などを作成していったが、特に今年度はマニフェストに説得力を持たせるためのデータ収集に力を入れていた印象がある。アンケートを行った。他自治体の事例における資料やグラフなどをうまく活用したりしていた。

12月5日(木)に立会演説会を開催した。1・2年生が参加し、投票して(模擬)市長を決めるイベントである。今年度はメインアリーナ改修工事のため、初



議員役だけでなく議長役も生徒が務める

12月19日(木)には市長選での探究活動を踏まえて、市議会議場にて高校生模擬議会を開催した。各クラスの質問は以下の通りである。「第1回」交通手段としてのジェットコースター導入について/前橋を「美肌の町」として売り出すことについて/「ワンとんたいエット」計画について/利用しやすいことも食堂の設置について/ラーケーションの導入について/学童保育と農家のコラボレーションに

ついて「第2回」本離れ解消から街の活性化につなげることに/無人タクシー導入とcogbe拡充について/「igoo」を利用する中高生を増やすことについて/半導体企業の誘致について/水道管の老朽化対策に市民が関わることに/前橋をリサイクルの町にすることに/「第3回」運動促進アプリ「ここペイ」の運用について/産休・育休・有給休暇が取得しやすい街となることについて/昼寝機会の創造について/前橋市におけるアグリツーリズム事業について/未来の農家育成プロジェクトについて/競輪人気復興によるグリーンロードの有効活用について



答弁後にも生き生きと自身の考えを語った

昨年同様、質問し、答弁を受け、それに対するコメントをその場でするという形式で行った。どの生徒も自信を持ち発言することができていた。